

皆さん、おはようございます。

今日で1学期が終わります。この1学期の間に、世の中ではいろいろなことが起こりました。新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種、今から3日後の7月23日（金）にはオリンピックが開幕します。そんな中、皆さんにとっては、どのような1学期だったのでしょうか。

ところで、1学期の始業式の式辞で、こんなことを話したのを覚えているでしょうか。「この1年間、どんなチャレンジをしたいか、その結果、どうなりたいかを、それぞれが考えてください。その実現のために、学校ができることがあれば、惜しみなく協力するつもりです。そのためにも、校長室のドアはいつも開けておきます。」ということをお話しました。

実際に、多くの生徒が校長室に来てくれました。また、皆さんが活動している場所で、頑張っていることや、これからこんなことをやってみたい、といった話を直接聞くことが出来ました。数えてみたら、中学生は延べ96名、高校生は延べ115名と、直接お話しすることが出来ました。それらは学校のHPの「校長室便り」でも紹介しています。

今日は、皆さんがこの1学期中に頑張った成果を確認したいと思います。

まず、中学生から見ていきます。

・中1は入学後に行われた「ふれあい宿泊学習」で自分の殻を破り、附属中生の仲間入りを果たしました。足尾での植樹体験や旭城大運動会への参加も視野を大きく広げました。

・中2は、中1からのSDGs研究をさらに発展させ、国際理解をテーマに、ユニクロとコラボした先進的な取組にチャレンジしています。また、先日行われた、映画館での「シネマ歌舞

伎」の鑑賞や結婚式場での職業人講話など、コロナ禍を逆手に取り、新しい学びの世界を切り拓いています。

・中3では、毎年行われている「シンカゼミ」の内容をさらにシンカさせ、研究テーマのプレゼンを行ったり、夏休み中のフィールドワークのアポ取りをしたり、準備を進めています。多様なテーマでの研究が行われています。

また、中学の部活動等では、5月から6月にかけての春季大会、7月の総合体育大会という2つの大会で、とても素晴らしい結果を残してくれました。陸上競技、男子バスケットボール、男子卓球に加えて、特設活動のサッカー、水泳が、2つの大会ともに、県大会に出場しました。特に、陸上競技は、県大会に出場する人数が、これまでの倍以上となり、大きく躍進しました。また、サッカーは、佐日中等との合同チームで初めて県大会への出場を果たしました。春季大会では、県大会での1回戦の壁をも破りました。他にも、体操競技で県で入賞した中1の本間さんも活躍してくれました。

文化部では、囲碁と将棋は、壮行会でも紹介したように、それぞれ県で個人優勝し、8月に全国大会に参加します。

運動部、文化部ともに、近年のレベルをはるかに超えた活躍を見せてくれました。

続いて、高校についてです。昨年度でSGHの指定は終わりましたが、今年度から始まった「Sano グローカル構想」は、順調にスタートしました。特に、資金面では、「三菱みらい育成財団」というところから、高校での課題研究に必要な資金として、毎年約200万円を3年間にわたって、助成していただけることになりました。全国から応募が殺到した中、本校の「Sano グローカル構想」が高い評価を受けて、選ばれました。この資金を活用することで、バスを活用したフィールドワークや、第一線の講師を招いた講話などが可能となりました。

・高1では、5月に、有志によるレクリエーション大会を企画運営したり、地域リーダースシンポジウムに参加するなど、意欲的に課題研究に取り組んでいました。

・高2では、バスを使ったフィールドワークを実施したり、研究テーマを決めたりするなどの課題研究に加え、普段の学習でも中だるみになることなくしっかり取り組んでいると先生方から評価されています。

・高3は、最終学年として進学に向けた準備を着々と進めるとともに、旭城大運動会や旭城祭といった中高一貫による学校行事を成功に導くため、リーダーシップを発揮してくれています。

さらに、高校の部活動でも、大きな成果がたくさんありました。

・ボート部では、6月に開催された関東大会で、女子クオドルプルが、創部以来初となる4位入賞を成し遂げました。また、インターハイへの出場を決めています。

・陸上競技部では、6月に、男子200mの渡辺君と女子棒高跳の新井さんが、インターハイの関東予選に出場しました。また、本日、壮行会を行った三段跳びの加藤さんと棒高跳の新井さんが8月の関東大会への出場を決めました。

・特筆すべきものとして、男子バスケットボール部が、インターハイの県予選で、18年ぶりとなるベスト8入りを果たしました。

・また、ラグビー部は、全国7人制ラグビー県予選で3位入賞しています。

・そして、水泳部については、部員5名全員が関東大会の出場権を得るという、水泳部始まって以来の大健闘を果たしました。

・一方、文化的な活動でも、目覚ましい活躍がありました。

・将棋の団体戦、科学部が、愛媛県で行われる高校生総合文化祭に出場することになりました。

・また、SANO グローカルクラブの英語ディベート班は、県の春季大会で、2部門で堂々の2位と、安定した実力を発揮しています。(HP で昨夜、更新しましたのでご覧ください。)

また、研究班も地道なフィールドワークを行っています。

・吹奏楽部については、中高の定期演奏会を5月3日に佐野市文化会館で実施するとともに、演奏会の様子をHP からユーチューブ配信を行い、大好評を博しました。再生回数は、合わせて3000回に達しました。これも本校が取り組んだ新たなチャレンジです。

・この他にも、県の国際理解弁論大会で努力賞となった高2の土屋君、ハイスクールフォトアワードで奨励賞をとった高3の平渡君の活躍も、自らのチャレンジによるものであり、賞賛に値するものです。

このように、この1学期の皆さんの活躍は、中高ともに、これまでの本校の歴史の中でも、特筆すべき快挙を次々に成し遂げてくれました。本当に、素晴らしいと思います。

私は、なぜ、皆さんが、ここまで様々なことにチャレンジし、成果を上げることが出来たのか、考えました。

実は、そのことを考えるきっかけとなることがありましたので、皆さんに紹介したいと思います。

先ほどの部活動の成果の中で、中学の陸上競技部について触れましたが、この1学期の中で県大会に出場する者が大幅に増加しました。先日、その大躍進の理由を現部長の兵藤君と次期部長の矢代さんに聞いたところ、「私たちは、お互いに信頼しており、お互いの存在があるからこそ、頑張ることができました。そのことで、一人一人の強い思いをより大きな力に変えることができました。」という答えが帰ってきました。

このことを聞いて、私はこんなふうに考えました。

昨年度は新型コロナの影響で、人と人が対面で関わり合うことがあまりできませんでした。逆に、その体験を通して、人と人とのつながり、伝え合うことの大切さに気付くことができたのではないのでしょうか。「生徒と生徒」、「生徒と先生」、さらには、「生徒と社会」それらのつながりを大切にし、お互いに信頼し、その存在を意識することが、大きな力を生み出す原動力になるのではないではないかと思いました。

たとえ個人でやることであったとしても、多くの人々とのつながりを感じることができれば、一人ではないと思います。

皆さん、一人一人が、このような「つながり」を意識して学校生活を送れたことが、充実した1学期につながったのではないかと考えています。

この1学期、私自身も、皆さんから多くのことを学びました。

最後に一つ、これからのことを話したいと思います。先日、高校の生徒会役員選挙がありました。中学生は知らないと思いますので説明しますが、生徒会長候補の選挙公約の中で、LGBTの生徒にも対応できる学生服やセーラー服タイプの制服ではない第3の制服をつくるべきだという主張がありました。また、副会長候補の選挙公約にも、校則を見直したい、という主張がありました。

私は、こうした考え方を、学校として、重く受け止めたいと考えています。

学校は、生徒が規則正しい生活を送れるように伴走する（支える）という重要な役割があることを、コロナ禍の中で、改めて気づきました。制服も校則の一つであり、校則は、学校における生徒のルールと考えることができます。ルールは、その集団の構成員が、お互いに信頼し、その存在を意識するとき、大きな意味を持ち、集団として頑張れる力を生み出す原動力にもなりうると思っています。

制服や校則の見直しをした結果、生徒が納得して規則正しい生活、さらには幸せな学校生活を送れるようになるのであれば、嬉しいことだと思っています。

ただし、この問題は正解が一つとは限らず、多様な考え方を踏まえた、最適な解を導かなければならない、困難な課題でもあります。

しかし、同じく困難な課題を乗り越え、旭城祭や旭城大運動会を成功させ、みんなを笑顔にしてくれた皆さん、様々なことにチャレンジしてきた皆さんだからこそ、私は、この問題の解決を、皆さんに託したいと思っています。

9月の生徒会発足を契機に、中学生・高校生の皆さんと知恵を出し合い、「本校生にとって、最適な解を求めるプロジェクト」をスタートさせたいと考えています。特に、生徒会役員の皆さんの頑張りを期待しています。（これは、2学期に向けてのお願いです。）

皆さん一人一人が成長することによって、学校はどんどん変わっていきます。私は、生徒や先生方とともに、この学校を、もっともっと、皆さんにとって、幸せな学校にしていきたいと思っています。

さて、明日からいよいよ夏休みです。自由な時間を有効に活用し、幅広い好奇心を持ち、豊かな心を磨けるよう心がけるとともに、新たなチャレンジを期待しています。

夏休み明け、皆さんが夏休み中にやってみたこと、考えたことなどを聞かせてもらうことを楽しみにしています。

以上で、校長からの式辞とします。